

# 岩見沢市地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

岩見沢市は北海道の中西部に位置する、空知管内の中心都市であり、人口は78,112人（令和3年12月末現在）、総面積は481.02km<sup>2</sup>で、市域の西部には平野が広がり、東部には低山性の山々が連なっている。また札幌市と旭川市を結ぶ国道12号、高速自動車道が通っており、札幌市まで車で約45分、新千歳空港を有する千歳市まで約60分の圏域である。

他の地方都市と同じように岩見沢市においても人口減少や少子高齢化、自家用車の普及などによる路線バス利用者の減少が続いており、路線の維持確保のための市補助金の負担も増加していることから、平成27年1月に地域公共交通活性化協議会を設置し、同年4月に「岩見沢市生活交通ビジョン」、平成28年6月に「地域公共交通網形成計画」、平成29年6月には「地域公共交通再編実施計画」（同年9月8日に国土交通省の認定）を策定し、平成29年10月1日に主要な生活交通手段であるバス路線（北海道中央バス）の見直しを行った。令和2年度末をもって「地域公共交通網形成計画」の計画期間が満了したことから、新たな公共交通のマスタープランとして令和3年6月に「地域公共交通計画」を策定した。

岩見沢市の公共交通においては、札幌や旭川と結ぶJR函館本線、苫小牧と結ぶJR室蘭線、南空知の他市町につながる地域幹線系統を幹線として、それらと接続するフィーダー系統（市内：路線型）やデマンド型乗合タクシーなどの新たな公共交通を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

岩見沢市の公共交通においては、札幌や旭川と結ぶJR函館本線、苫小牧と結ぶJR室蘭線、南空知の他市町につながる地域幹線系統を幹線として、それらと接続するフィーダー系統（市内：路線型）やデマンド型乗合タクシーなどの新たな公共交通を組み合わせることで、生活交通ネットワークの構築を進めているところである。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

指標	現況値 (令和3年)	目標値 (令和3年)
市内バス路線 総乗車人数	593,303人／年	1,200,000人／年

## 令和3年度事業概要

- フィーダー系統の運行
- (1)かえで団地循環線
- (2)日の出・栄町循環線
- (3)鉄北循環線
- (4)南町・春日循環線
- (5)幌向線

## 地域公共交通の現況

- ・JR函館線（岩見沢駅、上幌向駅、幌向駅）
- ・JR室蘭線（岩見沢駅、志文駅、栗沢駅、栗丘駅）
- ・北海道中央バス(株)（市内線運行14路線）
- ・(有)新篠津交通（市内運行1路線）
- ・市営バス（1路線）
- ・市営住民混乗バス（6路線）
- ・デマンド型乗合タクシー（岩見沢北地区、岩見沢西地区①、岩見沢西地区②、栗沢西地区）

## 協議会開催状況

### ■令和3年06月22日 令和3年度第1回協議会(書面)

(主な協議事項)

- ・地域公共交通計画の策定について

### ■令和3年07月14日 令和3年度第2回協議会

(主な協議事項)

- ・中央バス路線の見直しについて

### ■令和3年08月19日 令和3年度第1回専門部会

(主な協議事項)

- ・中央バス万字線及び市営バス万字線の事業見直しについて

### ■令和3年09月06日 令和3年度第3回協議会(書面)

(主な協議事項)

- ・中央バス万字線及び市営バス万字線の事業見直しについて

### ■令和3年10月29日 令和3年度第4回協議会

(主な協議事項)

- ・中央バス万字線及び市営バス万字線の事業見直しについて

- ・中央バス路線 運行計画の見直しについて

### ■令和3年12月23日 令和3年度第2回専門部会

(主な協議事項)

- ・中央バス万字線及び市営バス万字線の事業見直しについて

### ■令和4年1月17日 令和3年度第5回協議会(書面)

(主な協議事項)

- ・東部丘陵地域新路線の事業内容について

- ・地域公共交通確保維持改善事業における事業評価の実施

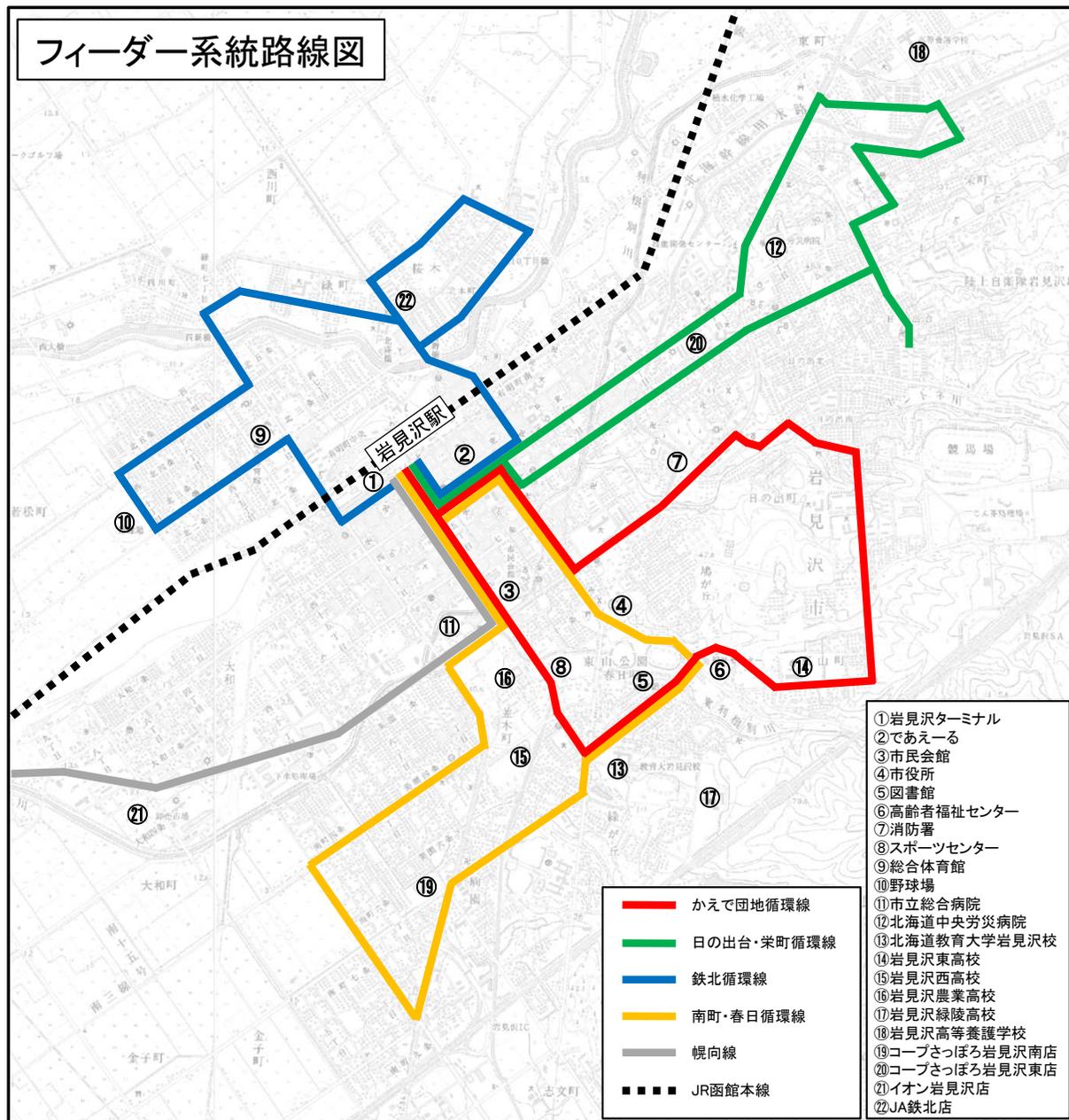
# 令和3年度事業の実施状況

## 1) プロセス、創意工夫

- ・JR、地域間幹線系統につながる市内線として4つの循環線を運行。
  - ・循環線については、両回りを運行することで、便数の減少に対して利便性を向上させた。
  - ・循環線を全てターミナル以外の乗換拠点となる「であえーる」を経由させ、乗継しやすい環境を整備。
  - ・幌向線については、幌向地区から総合病院である岩見沢市立病院までのアクセスを優先させて運行。
  - ・交通空白地域において、移動手段確保のためのデマンド型乗合タクシーを導入
  - ・利用促進のため、再編後の市内路線を網羅したバスマップを配布
  - ・R3は、バスを含む、市内公共交通の利用促進を目的として、市広報誌に特集記事を掲載した。市内の小学校に通う児童からバスに関する絵を募集し、集まった作品をバス車内に展示する「バスの絵募集キャンペーン」を実施した。
- ※応募総数: 339作品(今後展示会の開催などを検討)

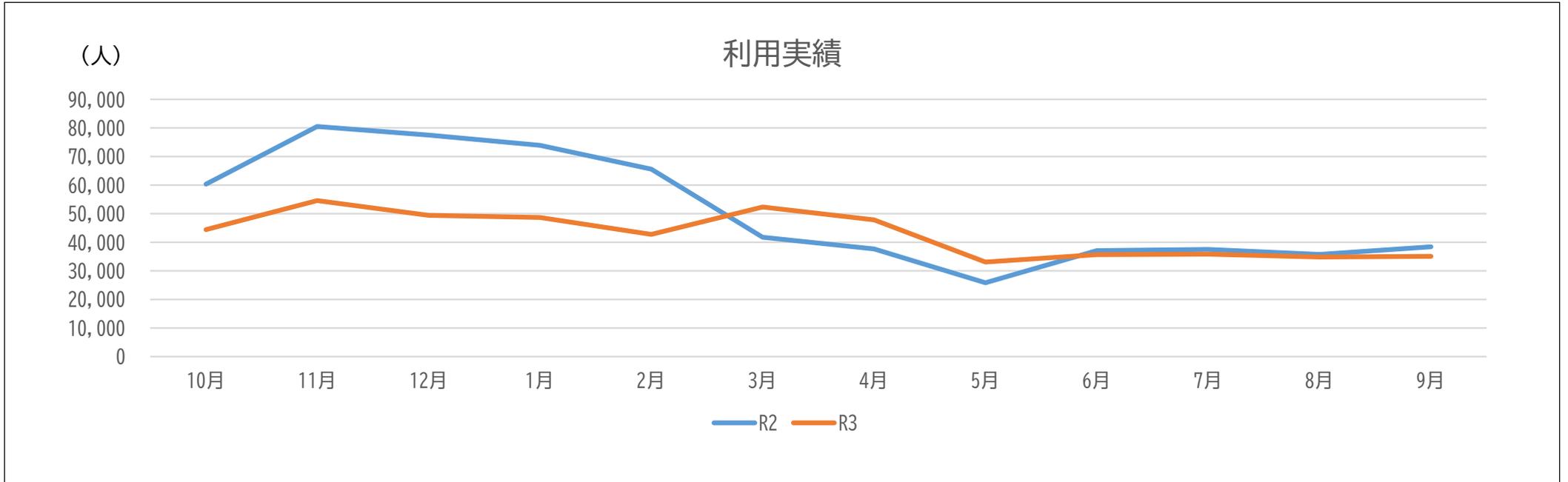
## 2) 運行系統

路線名	起点	経由	終点
かえで団地循環線	岩夕	東高先回り	岩夕
		国道先回り	かえで団地
日の出台・栄町循環線	岩夕	日の出台先回り	岩夕
		栄町先回り	5条東18丁目 日の出台
鉄北循環線	岩夕	鉄北先回り	岩夕
		であえーる先回り	
		鉄北先回り・桜木	
南町・春日循環線	岩夕	美園先回り	岩夕
		市役所先回り	岩夕 南町7条3丁目 木工団地
幌向線	岩夕	市立病院前	南4条つくし公園

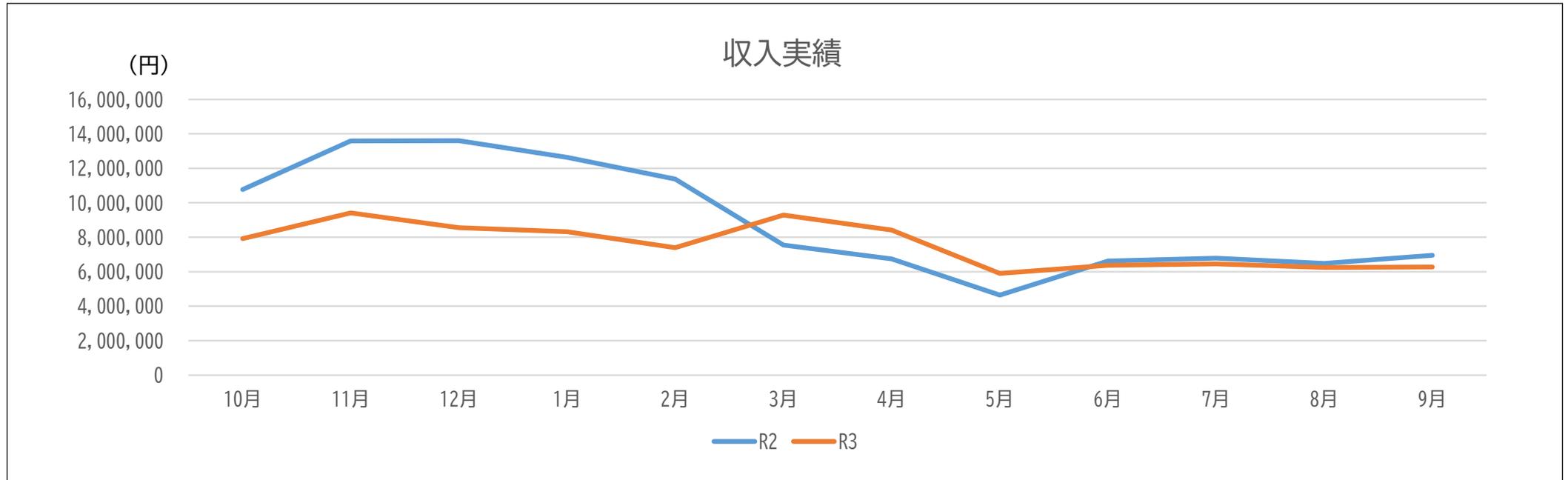


### 3) 利用実績

※かえで団地循環線、日の出台・栄町循環線、鉄北循環線、南町・春日循環線、幌向線の路線合計（非フィーダー系統含む）



### 4) 収入実績



## 5) 事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

## 6) 目標・効果達成状況

輸送量が目標に達していないものの、平常時の運休や遅延等は減少するなど、路線再編前と比較して安定的に運行できていたが、新型コロナウイルス感染症による影響や冬期間の大雪等による臨時休校など、安定的な運行の維持が難しい状況も発生した。

### 【市内バス路線総乗車人数】

目標値(R3)：1,200,000 人/年

実績値(R3)：593,303 人/年

## 7) 事業の今後の改善点

新型コロナウイルス感染症の影響による急激な需要の減に対して、新たなバス利用者の獲得を目指し、バスに興味を持ってもらい、利用してみたいくなるような取組みを検討していく必要がある。

## 8) 地方運輸局における二次評価結果

(令和4年度分と併せて評価)